

本美濃紙 / 美濃和紙用具ミュージアムふくべ

美濃和紙用具ミュージアムふくべは、美濃地方の伝統的な生活様式を紹介しています。このミュージアムは児童数の減少を理由に 2002 年に閉鎖された旧片知小学校の校舎を利用しています。2018 年にオープンした同ミュージアムでは、和紙作りに使われる道具や、地域の農業・養蚕に使われる道具を展示しています。戦後の農家のいくつかの部屋を再現しており、来訪者は美濃の農民や職人の暮らしに触れることができます。館内には、水車、砥石、精米機など今でも使用可能な道具がいくつか置かれており、かつての生活を体験することができます。

ミュージアムは旧片知小学校の校舎の 2 階分を占めています。1 階には和紙作りの道具が展示されており、見学は無料です。和紙作りの古い写真や江戸時代（1603～1867 年）の絵図の複製をみると、何百年もたった今でもその製法はほとんど変わっていないことが分かります。

2 階にある 4 つの展示室については、入場料が必要です。紙作りの道具や歴史的な写真、農具、1930 年代の農家の一部を再現したものなどが展示してあります。和紙作りに用いられる多くの道具は、20 世紀半ばまで、ミュージアム周辺の世帯の大半が和紙職人であったことを伝えてくれます。ある部屋には、ダイヤル式電話やテープレコーダー、レコードプレーヤー、カメラなど 20 世紀のコレクションが展示されており、訪れる人によっては懐かしく、また知らない人もいることでしょう。

美濃和紙用具ミュージアムふくべは、午前 10 時から午後 4 時まで開館しています（火曜日は休館）。ボランティアによる展示品の説明も行っています（日本語）。一部のボランティアは、元和紙職人です。